

会議の名称	第2回 鳥海地域協議会
開催日時	平成21年11月12日(木) 午前10時～
開催場所	由利本荘市鳥海総合支所 講堂
出席者氏名	地域協議会 名簿のとおり
欠席者氏名	//
(会議次第) 1. 開 会 (菊地参事) 2. 会 長 挨 拶 (会 長) 3. 理 事 挨 拶 (猿田理事) 4. 協 議 議事進行：会 長 説明者：清水振興課長 ・ 地域づくり推進事業 5. そ の 他 議事進行：会 長 説明者：清水振興課長 ・ 由利本荘市定住自立圏形成方針について 6. 閉 会 鳥海総合支所長より、閉会を兼ねて挨拶をいただく。	
会議の経過	別紙のとおり

◆地域協議会 名簿

(委員20名)

本庁及び鳥海総合支所

[illegible]

(会議の経過)	
第2回 鳥海地域協議会	
平成21年11月12日(木) 午前10時 開会	
菊地振興課参事	【1. 開 会】 定刻になりました。ただ今より、第2回鳥海地域協議会を開会します。
菊地振興課参事	【2. 会 長 挨 拶】 はじめに会長より挨拶を申し上げます。
会 長	おはようございます。久しぶりになりますが、第2回目の地域協議会になります。今日は平成天皇が即位して20年というお祝いの日だそうですが、そういう関係か、たいへん良い秋日和に恵まれております。 しかし、一方では、事業の仕分作業というたいへんな仕事が行われております。テレビ等で公開されてますけども、この先どうなるのかなという不安がある訳でございます。 中でも地域、それぞれに纏まりながら合併後も元気にやっているんだぞと協議しながら進めていかなければいけないと思っております。 そのためには、それぞれの力が絶対に必要だと思って、皆様から協力をお願いしたいと思います。 今日、この度の市議員について当選されました高橋・佐藤両議員さんも出席予定でしたが日影地域の道路関係の検証で欠席となっております。 まだまだ懸案事項がいっぱいありますので、皆さんからもご指摘をしながらご提案を出していただきたい。 さらに、今日午後1時半から都市計画プランの会議がございまして、それに出席することになってますので、会議を12時までには終わりたいと思っておりますので、よろしくお願いします。
菊地振興課参事	【3. 理 事 挨 拶】 続きまして、猿田理事より挨拶を申し上げます。
猿田理事	おはようございます。会長さんもお話しされましたとおり、今日のこういう天気は今シーズン最後かなと思われるぐらいにいい天気で、皆さん色々と冬支度に備えて心穏やかで、むしろいい天気過ぎるかなと思いますけど、お集まりいただきましてありがとうございます。 今日、私の方からご説明を申し上げなければいけないのは、事前に資料が渡ってると思いますが、地域づくり推進事業を主にご提案をしてお考えをいただきたい。市長がかねがね就任以来、合併して5年各地域色々な事情をみるに、それから訪問してお話を伺うに、従来あったそれぞれの地域の特性やら、元気さやら、活力が合併に伴ってどんどん少しずつ純化される中で、失われつつあるなということでありまして、来年度予算の策定作業を各課で一生懸命やっている最中でありまして、それにぜひとも来年度、それぞれの地域の裁量をもって実行していただけるソフト事業を決めだしていただきたいというお願いであります。 既存の各団体とかイベントやら、実行していただいているそれぞれの団体に提言方式でやっていただくのは一番簡単なことでありますけども、そこを何とか地域協議会の中でご議論いただいてそれぞれの委員の皆様が普段考えていること、それからいろんな団体さんやら地域住民の寄せられる意見等を地域協議会で皆様とそれぞれソフト事業に反映できるような形でご提案をいただきたいというのが趣旨でございます。 それを来年度予算につなげて行きたいということになりますけども、仮に、

来年度３００万で完結するものではございませんので、いわゆるソフト事業を一年間継続してやってみて、その結論を見いだす、実効性があるかということ、効果を表すには、非常に難しい面もありますのでこれは、来年再来年と継続的に考えになっていただいて構わないというふうに思います。

このソフト事業に限っては市長の来年度予算に向けてのカラーを打ち出した事業でございますので、皆様の方から良い知恵をいただけるようお願いを申し上げます。

あとは、定住自立圏構想のご報告を申し上げますが、前回市の方からご説明させていただいた内容、それぞれの地域協議会、或いは議会の全協議会でご説明をした中で、ご要望があった部分、一部修正をかけた部分のご説明がございますので、大筋は皆様方に説明した内容と代わってございません。

文言を若干修正したところ、それから、２つ３つ項目を増やさせていただいたところをご説明を申し上げたいと思います。

いずれ、寒い時期に入ります。インフルエンザも心配でありますけども、それぞれの地域がこの地域が益々ご発展になりますように今日の会議もご難儀をかけて宿題を持っていくような形でたいへん恐縮でございますけども、一人の知恵のみならず、いろんな方々とお話し合いの中で、ご提案いただければ有難いと思います。よろしくお願いいたします。

菊地振興課参事

【4. 第1回協議会欠席者紹介】

前回都合により欠席された委員説明

菊地振興課参事

【5. 協 議】

さっそくではありますが協議にはいらさせていただきます。

協議の議長は、地域自治区の設置に関する条例第9条第4項の規定により会長が務めます。

会 長

次第の協議欄にあります「地域づくり推進事業」についてですが、第2回協議会の開催通知、※印の欄に掲載したとおりであります。詳細について清水振興課長より説明をいただきます。

清水振興課長

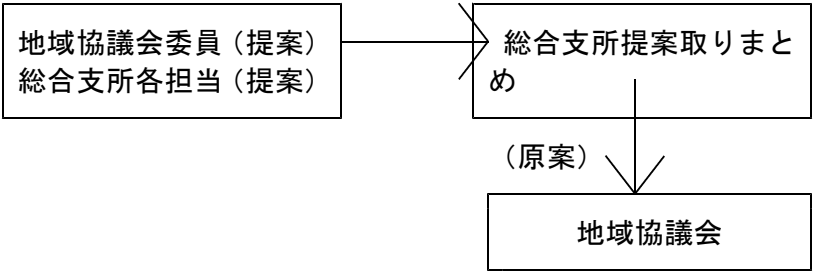
課 長 説 明

会長

A委員より提案書をいただいているので、提案書の説明をお願いします。また、他の委員で提案があったらお願いします。

A委員

おはようございます。今、振興課長さんから説明があったわけですが、2ページ目を見ますと



地域協議会委員は時間のないままに提案書を出してくれと、スピーディーに

地域協議会に上げられたという感じで戸惑っているというのが現状であります。

ただ、思いを叩き台としてあげたわけですので、ご理解いただきたいと思いますが、今までも、誰もが鳥海地域で獅子舞番楽というのは知っているわけですし、夜明かし番楽から30数回も重ねられてきているイベントですし、文化芸能だと思います。そのことについてはずっと夜明かし番楽を大事に育ててきて、今地域協議会の会長さんもそれについてはご苦労されていると思いますけれども、今までは行政が主導でやってこられたのかなと、しかし、回を重ねられることに地域の方々の若い方が獅子舞番楽に対して本当の素晴らしさを認識してもらってるのかなというのがある一部しかないのかなというのが心配です。

県内外からは興味を持って色々勉強したいという方々が集まってきていますけれども、今一度鳥海地域の人々の再認識を図る必要性があるのではないかと感じました。

併せて、夜だけ獅子舞番楽として楽しむのではなくて、獅子舞の発祥の地である鳥海山ろくの伝承地を知りながら案内していただいて、そして触れていただいて、夜は幻想的な獅子舞番楽に浸っていただけるのであれば、来ていただける方も充実して帰ることができるのかなという思いがございます。

そういう中では、特に今やっている行政主体でやっているどうこうというよりは、もっともっと多くの地域住民が知恵を出し合いながら番楽を伝承していけたら楽しいだろうなという思いが増してきました。

特にその場所とか地名とか正確な年代とか伝統芸能の意味を我々は勉強しなければいけないのかなと、それに近い観光案内の会というのがございますが、少ない人数でなかなか法体の滝を案内するのがたいへんな状況だということで、そういう人材を育成しながら獅子舞番楽に併せた講習会を開くなり様々やれたらいいなということを感じて提案した次第であります。

もちろん、事業主体である団体名はこの方が担当するのでなくあくまでも叩き台ですし、もっともっと多くの反対もあるかも知れませんが、そういう方々によって盛り上げていけたらたいへんよろしいなということで提案した次第でありますので、事業費についても、細かい計算はしておりませんが、50人のツアーは少ないといわれるかも知れませんが、最初は多くのツアー客はたいへんだろうなということから始まって、人材を育成することによって、いずれ、金をかけても人材育成ですので、必ず効果は上がると思いますし、とにかく先ほどもお話しされました、地域の元気を取り戻したいということで、お祭りは一番最適ではないかと思いますので提案いたしました。

会 長

ありがとうございました。色々な思いがそれぞれ皆様に伝わってきますけれども、まずもうひとかたおりますので、提案していただいて、その後で協議していきたいと思いますので、B委員さんお願いします。

B委員

おはようございます。私どもの提案をさせていただきますけれども、生涯学習奨励員として長い時期勤めさせていただいています。しかしながら、会合の中で町おこし等出るわけですが、先立つものは金だということで、できないまま来ているわけであります。

しかしながら、数年前に私どもの巷であるカラオケ大会が何とかならないかと、繰り越ししようじゃないかという計画をたてた経緯がございました。

しかしながら、先ほどお話ししました「先立つものがお金」だということで、なかなか実現できずに来たわけではありますが、今回、地域づくりの推進事業があるということで、もし何かできればと思いました。

私の一品を見せたいとか、色々な話が出たのですが、前々からカラオケの話がありまして、皆さんにお話ししたわけです。

最後に、カラオケとかはどこにでもあるものかというような話になったわけで、最終的にマドロス大会をしたらどうかと、こういう話になったわけ

です。それで、海と山のある由利本荘市ですので、できればそういう思いをのせて、マドロスの衣装で歌と踊りの部門を競い合うような盛り上がりのあるイベントにしたらどうかということになりました。

いずれ、この事業をやるには参加費を徴収しながら事業の一部にあてるということで設定いたしました。

実施時期については翌年の7月頃にやれればと思います。

一つ言い忘れましたが、事業主体は急でありましたので他の団体との共有を見いだせないままに提案しましたけども、いずれこの間の話の中にはJAの婦人部とかそういう皆さんにもお手伝いしてもらいながらやっていければと思います。

それから、場所は紫水館をお願いしたいと考えております。

事業費は50万程度とただ単純な考えで策定したわけでありますからおそらくこの額からは超えるのではないかと思います。

そして、費用の内訳で合いますが、音響、照明等記載しておりますとおりです。

私どもは地域づくりに貢献できる事業を提案させていただきました。

会 長

ありがとうございました。お二人には提案書を作ってください概要を今説明していただいたわけでしたが、委員の皆さんは提案書は作成してないにしても考えを持っている方は提案を出していただき、その後、総括して質問含めてやっていきたいと思います。

C委員

私は田を6年前からやっているんですけど、田にはいる用水等にもものすごいゴミが流れてきているわけです。笹子だけを見てもかなりのゴミが流れているので川にはものすごいゴミが流れているのではないかと思います。子吉川は海まで繋がっているのですその上流でゴミがあればあるのはまずいのではないかと思います。

会 長

いわゆる環境整備、川をきれいにすることで、現場を見ての考え方ということです。他の方はありませんか。

D委員

私は25・6年前ですけども、公民館主催の生涯学習の中で登記とか連帯保証人とか、或いはその他民法上の勉強会で教わることができました。それによって私も知識がなかったものの非常に参考になり、知識を得ておりますとこれから色々なトラブルになっても非常に助かると思います。

その勉強の中でサラ金の問題がでまして、公の場でいうのも失礼なんですけど、一旦10万円をAに貸すと、今度期限が来れば金利がつくから当然10万円を超え15万円にもなるわけです。そして次に別の業者にころがして、そういうことを何回もころがして、最後に300万も金が膨らんでくると、今度は厳しいことを言って、生命保険に掛けてみたり、或いは暴力団に売るんですよ。というような恐ろしい説明を受けまして、私もそんなことはないんでないだろうかと思ひまして、非常に参考になりました。

連帯保証人になっても俺都合悪いから辞めたってことで、お金も払わないで連帯保証人を辞めれるわけないだろ。と言ひまして、その人とケンカしたから辞めると言っており、非常識な人もおります。そういった人は常識がないためにそういう自分が連帯保証人になったんだという意識が欠けているからそういう意識になったんだと思います。連帯保証人というのはその人の債務を肩代わりしてなす行為ということですから、返済しなければ辞められないのです。これすらも分からない人がたくさんおります。こういったことがありますので、社会のルール、知識を事前に教えていただくということが非常に大切かと思ひますので、私の考えを述べさせていただきました。

会 長

今お話を聞きました件は、昭和50年代に教育委員会で行ったものであります。いわゆる社会生活上の法律についてもっと学習する必要があるという講座があればということでした。他にどなたかおりませんか。

E 委員

私なりに考えているところを申し上げます。鳥海町はどういう立地条件にあって、どういう文化があって、どういう姿かというそんなことを考えたときに、鳥海町の猿倉人形があり、それは鳥海町には古い歴史のある芸術といいますか、そういう文化ですので、ここら辺で後継者を含め色々やれたらなと思います。

それから歌ですよ、それを鳥海地域の発祥して、発祥はどこか分かりませんが、各地域でいろんな歌もやっていますので、そういうものを鳥海地域外にいろんな形で鳥海を発信するという意味合いから人形作りの全国大会をやるとか、地域の発信といいますか思いを込めてやっていければなと思います。

また、他所から見て鳥海町はどのように見えてるのかなと思ったとき、鳥海町は獅子舞や番楽だと思いますが由利本荘市には様々な獅子舞や番楽があるそうですので、共演なんかもしていけたらと考えております。

会 長

せっかくの機会ですので皆さんから意見、提案を少しずつ出していただきますので、どうぞまだ発言されていない方お願いします。

F 委員

私の考える地域協議会は主宰者側も委員側も何かが何だか分からなく以前は終わっていましたが、今回はテーマを設けているというので良いのかなと思います。

このテーマは非常に難しいといいますか、色々皆様も考えがあると思いますけども、なのをやれば成功するかなど結論を出すのは難しいと思いますし、12月までまとめなくてはいけないということですけども、まず鳥海地域はどういう地域なのかなというところから始めなくてはいけないと思います。それでまず、あるものを利用しないとダメなのかなと思います。特に今年は観光地法体の滝に釣りキチ三平、滝田洋二郎監督来てますけども、すごい人が来ています。こんなに人が来るのかなとビックリしております。と同時に地域にこんなに素晴らしいところがあるのかなと思ってます。黙っててもこんなに人が来るのだから、この中に鳥海町の伝統だとか芸能を見せるのが一番簡単なのかなと思います。鳥海町に行かなければ見れないもの、鳥海町に行かなければ食べれないものが一番大切なのかと思います。そして鳥海町のイメージを定着させて帰っていただければなと日頃思っているわけです。この協議の中で色々な提案がありますけどもPRできるようなものが良いのではないのでしょうか。300万とか1,000万とか言ってますけども非常に金がかからなくて良いのかなと思います。

次いでですけども、由利牛ですが、本物の由利牛を何人が食べたと思いますか。由利牛名前だけ使って食べたことがない人はいます。13日に由利牛の本物を食べる会がグランドホテルで280人くらいでやっています。ひたすら食べる会です。そういったことを鳥海町でもやれば良いのではないかと思います。

まとめますと地域協議会ではポイントを擇って、やるということです。

もう一つは、伝統芸能の後継者問題は考えていかなければいけないと思いますし、そういったところも含めて改善していかなければいけないと思います。

最後に一言申し上げますと、皆さんはバラバラです。みんな良いアイデア持っているのだけどバラバラです。言にくいことを申し上げますけども、フォレストもフォレストのやり方、鳥海荘も鳥海荘のやり方、それから高原鉄道のやり方もバラバラ。良い発想は持ってるが一緒になって仕事はしないんですよね。これが一番悪いと思います。一緒になって良いアイディアを出してもイベントをやってもまとまりがないんです。これからは一体となってやる、お互いに一緒になって相談していくのが良いと思います。

会 長	非常に貴重なご意見ありがとうございました。他にございませんか。
G 委員	積極的に手を挙げて話す案がありませんが、この資料をいただいたときから地元では難しいテーマだなとつくづく思いまして、地域づくりを真剣に考えてみますと、自分の毎日の生活、毎日の人との関わり合いが、地域づくりの一端でもあるのかなと思えることもありまして、ただこういった推進事業でありますから、予算もありますので、イベントやら研修事業、或いは環境整備事業これら何かないかなと真剣に考えましたが良い案が浮かびませんでした。2名に提案いただいたものは良いなと感じました。そして、私には提案がありませんが、何でも良いからやることが良いと感じます。簡単ではございますが、私はそう思っております。
会 長	他に、H 委員ありませんか。
H 委員	ソフトとハードの区別が未だによく分からないんですが、私は河川公園の近くに住んで居るんですけど、公民館の方達の予算がなく整備ができていなくて、川が近く子供達が遊ぶのにフェンスが取り外されていたりとかですね、そういうのを作ってくださいというのはハードのほうになるんでしたら、ボランティアを募るとかそういった人達でごくろうさん会とかという形で食事会をするのはソフト面に扱いされるのでしょうか。
会 長	ありがとうございます。いろんなことが出てきましたがこの次色々まとめたいと思います。I 委員は中国からお嫁さんになってきてここで子育ても頑張ってきました。よろしくお願いします。
I 委員	法体の滝のことでF 委員が話したようなことで、お客さんはいっぱいいっぱい来ているけど、帰る道分からなくて、どうやって帰ればいいのかといわれるが、案内がなくてわからない。あと、鳥海の良いところ観光できる場所名物とか教えてくださいといわれ、教えることができない。釣りキチ三平の記念の物がありますかって聞かれて、ここは食堂だけで役場にはあるが、なにか飾れるところ、見れるところがあればいいなと言われております。
会 長	鳥海には良い物美味しい物がいっぱいあり、良い場所もあるけども案内があまりパツとしていないということだと思います。せっかくの機会ですので、真坂さんなにかありますか。
副会長	私も皆さんからご発言ありましたようなことしか頭に浮かび上がらなかった訳ですけども、時間的に提案書は提出しておりませんが、今即やるとなればお客さんが楽しみにして来る、例えば番楽でもなんでも踊りでもそうですけども、皆さんの求めているようなものを提案して、見せて、鳥海は良いところだなと思って帰れる様な形のものが一番適しているのかなというふうに思っているところです。 皆さんがお話しされた形とほぼ同じになるわけですけども、これから皆で協議して統一した意見を出して行けば、そういう事業展開をしていけば良いのではないかと考えております。
会 長	ありがとうございました。 私も提案書は出しませんが、いずれ皆さんから出されたことそれぞれに親しみのあるポイントを添えた提案であるなと考えております。 獅子舞番楽については私も関わっていますので、非常に力強い提案をいただいたなと考えております。 ただ、内容的に申し上げますと、本会番楽、或いは鳥海の獅子舞番楽という

のは中央で高く評価されております。各大会にも数回にわたって参加しておりますし、全国の民俗芸能音楽会から、50人参加しまして、地元の伝承者と併せて研修会を開きました。

これは、地元の番楽団体それぞれ演目をだして、中央の研究者に見せました。非常にすごいなという……。これは私も学会の会員になってますけども、秋田県から4人か5人しかおりません。年会費6,000円で、今回の大会は一人10,000円ずつだして市からの補助で0にして、みんな自分たちの自前でやったものであります。財政的にも厳しかったけれども、共催をお願いして協力をいただきながらやりました。みんな満足して非常に良かったなという礼状がきています。

特に、番楽以外に法体の滝等も見させていただきました。これはまた来たいなというふうに言うておりましたので、やっぱりF委員も申し上げましたけども、遠くから来た人（沖縄九州等含め）は、感動して帰ったので、そういう文化があるということになれば、もっともっと力を入れていかなければいけないのでやっているんですけども、なかなか難しいと。

ただ、番楽の伝承者懇話会の中で、番楽カレンダーを出しているのですが、年間30万かかります。売り出してもカレンダーはもらう物としてなかなか買ってくれません。これもたいへんだなと行き詰まっている。

ですからそういう発想からいきますと、いろんな由利牛の宣伝も含めた、ある意味では鳥海のイベントカレンダーという物を考えても一つの方法ではないかなということでございますし、更に、他の町ではいろんなミュージカル。獅子舞番楽というのは伝統芸能ですので、創作は一切ダメなんです。昔と同じでなければいけない。そうすると地元の人達はだんだん離れる。周りの人達は珍しいと見る。非常にこのギャップがあります。そういう意味ではミュージカルというものはその年その年のあらずじ、テーマでやりますからやっぱり盛り上がる。そういうこともできなくはないんですけども、やっぱり考えただけではできないなということもありまして、その辺のところは全く迷っているんですけども、皆さんからいろんな意見を出していただいてそれぞれ他人の話を聞きながらこのことについてもっとということがあると思います。二人が提出した提案書も含めて話をしていただいて次に進みたいと思います。

今まで提案された中身について質問するようなことがありましたらどうぞ。

F 委員

今、I委員も言いましたけど、サービス、お金のかからないもの、例えば法体の滝の看板が家の前にあるんですけど、これは人の発想なんですよ。例えばですけど家の前の会館をまっすぐ行けば滝に行くんですけど、集落を過ぎたあたりに法体の滝って書いているもんですから、その間に迷っている。簡単なことなんです。滝に行こうとしても私の家のところに来るものですから立てましたけども、そういった案内の発想、立てる場所、アイディア、色。そういうのは携わる人の発想だと思うんですよね。お金ばかりかけたって発想の悪い人だと全然ダメなんでそこをまず一つ。

先ほども言いましたけど本当に人が来るんですよ。来た人達はただ滝を見てずっと帰るんです。そこにちょっと寄ってとか、すえひろがあるんだけど、さっき言った釣りキチ三平、滝田洋二郎監督は有名になったんだけど、釣りキチ三平は滝にイワナを釣りに来ているのにおぼこ号には鮎が描かれているその発想。同じお金で同じ手間でできるんだよな。発想なんだよな。

そういうので、泊まれるところ、温泉は鳥海荘等ありますが泊まれるところがないのかなという発想がちらちらでております。これは夢の中の夢ですけども将来はそういうのも続けていけるのかなと考えております。

人が集まるところじゃないとダメなんです。人のいないところで事業やるっていったって絶対ダメなんです。まず人が来るとこ。人が来れば店ができる。それしかないですよ。やっぱりこんなに黙って人が来るところに皆でアイディアを出しあってやろうということ。裏山に行ったら竹がまた良いんだよな。そ

	れをそのまま持って帰るんだよな。 これからお互いに発想でやればなと思います。
会 長	発想ということは大事だということです。例えば釣りキチ三平がロケされた法体の滝に夏場はうんと来るだろうなと思ったけど、予算の関係で昔旧鳥海町ですといろんな看板が立てれたが、今そういう予算がないということで簡単に立てれないんですけど、それを思い立った還暦グループでお金を出して法体の滝の看板を出した。これは皆ポケットマネーでやったものです。そんなこともやっているんだけど、別に市役所から良かったという言葉もなかったので、F委員の言われたように認め合う。他人は他人。俺だは俺だというようなのがあるように感じます。そのようなことも含めて皆さんのいろんなご意見、あるいは今までの質問などありましたらお願いします。
C 委員	では一言。この推進事業は公共の補助はかかっているんですか。
清水振興課長	これは単独事業で、市の持ち出しはありません。国、県も関係ないです。
C 委員	それから A 委員の提案に感銘した訳です。さっきも会長さんが説明したように何かこの番楽というか流れがはっきり・・・本当にやってる地元の人達が分かっていないと思うんですよ。番楽っていうのは農作業に密接なものだろうと思うんです。高級なものになってしまったのではないかなと思うんです。ただ、A 委員が出しておりますけど、もっと見つめ直せば良いのかなと思いました。
会 長	非常に大事なことだと思いますけども、番楽が高級になりすぎたのではという意見ですが、これは国指定を目指していますから追求はしなければいけません。ただ、文科省から予算をもらって平成 11 年ですか。教育選択になりましたので、本会番楽という報告書を出します。これは限定されて、文化省の検査を受けて皆の内に配らなければいけない。お金さえあれば配ることができるけども、人形芝居の方も結構作っております。でもそれを皆さんに配るわけにはいきません。いずれまだまだそういう分野は・・・そういうところにも原資が市の使用であれば何事もなく使えるというようなことです。もっともっと今まで見えなかったようなところまでやれば、もっともっと理解してもらえる。地元の人達はダメだけど他から来た人達は良いというのは問題がある。 もう一つ私が聞きたいのは、急きょ 22 年度のをやっているんですけど、これは 23 年 4 年 5 年でも継続されるのかどうか。その前提があれば或いは小学校の統合がされると思われます。直根小学校が非常にまだきれいなので、例えば山文化の民俗資料を全部集めるとか、或いは獅子舞・人形芝居も含めてそういうところに拠点を作るかということも含めて年次計画でやれるということもあるので、そのところも教えていただきたいと思います。いわゆるこの先どうなるのか。
清水振興課長	継続なるはずですよ。なりますとは言えませんが。
会 長	今、$3 \times 4 = 12$ で 1, 200 万円を想定できますか。
清水振興課長	今はちょっと分かりません。
会 長	その辺の部分なんです。パッと辞められると大変なんです。このところが今後の選択にかかわってくるんですよ。
清水振興課長	今の市長の目玉の政策ですので、単年度で辞めず継続してやっていきたいと

	ということです。ただ、額とかはまだ分かりません。
会 長	２２年度できなければその次もあるよということでこれを含めながら一つ。 Ａ委員。
Ａ委員	提案はお祭りのことを提案していたんですけど、実はもう一つ違ったことを考えていて、それは自殺予防のことです。これについては、誰もが知っていることですが、秋田県がワースト１。鳥海町も大変自殺率が高いと。何とかしなければならないから、市も動いています。県も動いてます。今、鳥海地域にはオープンハートオコジョという要するに民間の団体が立ち上がって活動をしています。そういうところには色々経費がかかっても市の予算が削減されている。 やはり、そういう部分については地域協議会のみならず、民間のボランティア団体に関しても声かけをして、こういう機会に３００万円の活用を図っていただいたら、たいへん良いということを提案したいと思います。
会 長	これはワーストラインにありますので、これは一つ皆で考えるテーマだということです。ただ考えるのでなく行動を起こすことも含めてなんですけど。 いろんなことを提案されまして、今日は話っぱなしですけども、次回はこれをまとめて、見つめ合いながら良いプランができたかなと思っております。 一旦、このことについてはここで、時間があればまたやりますけども、次に進ませていただきますけどもよろしいでしょうか。
会 長	その他の欄に掲載しています「由利本荘市定住自立圏形成方針」ですが、「由利本荘市定住自立圏構想について」と題しまして、第１回協議会時に本庁企画調整課長より説明していただきましたが、９月定例会におきまして議決され、「由利本荘市定住自立圏形成方針」として策定の運びとなりました。 これにつきまして事務局より説明をお願いします。
清水振興課長	（振興課長 変更・修正等説明）
会 長	このことについて質問等ありましたらお願いします。
Ｃ委員	これは国の総務省から流れがあるんですか。
清水振興課長	初年度に１億７千万が国から来ます。そして今後、由利本荘市に対して４千万円。向こう５年間で２億円。併せて３億７千万が来ることになってます。
Ｃ委員	国のヒアリング、文言は。
清水振興課長	ヒアリングはもう既に終わっております。そして初年度１億７千万円、昨年度ですけどもきております。これを今基金にして、今年度から具体的な事業に向けて使用する。
会 長	この件について質問がなければここで一旦課長さん方に報告事項とかありましたら、それを行って、そしてまた先ほどの件に進んで参りたいと思います。
村上事務長	鳥海診療所の村上です。２点ほど報告したいと思います。今の定住自立圏構想の関係で関連ありますので、１点目はそちらの方から話をしたいと思います。 資料の中で３ページ、上から３行目巡回診療のことが書かれております。これは鳥海地域の巡回診療を今、計画しております。先ほど法体の滝・百宅地区

に人が入ってくると言う話もありましたけども、基本的な考え方としては、一集落4km範囲内で50人程度の人がいるようなところと計画しておりますが、直根の場合は百宅地区を1箇所、巡回診療地区にしております。それから笹子地区については、野宅、西久米地区という2箇所を計画しております。野宅地区については下ノ宮・野宅・上野宅、これを野宅会館を利用してやりたいと思っております。それから西久米地区につきましては、赤倉・西久米・皿川。これは西久米の会館を利用したいなと思っておりますが、西久米の会館は坂があって、なかなか無理かなと思いつつも、中央ですので、そこをお願いしてやりたいなと思います。ただ、巡回診療もこの次に話す件についても、全部予算が伴いますので、地域の皆様にはこのことをお話ししておきたいなということで、今回話をしております。薬科剤については百宅の場合は直根診療所の午前中、診察を終わって午後から1時間程度という計画をしております。それから、笹子については同じく午後から。笹子の野宅については水曜日の第1・第3。西久米については金曜日の第1・第3。百宅については木曜日の第2・第4というような形で計画しております。なかなか交通の便も悪くなってきていますので、できれば訪問・お伺いして、少しでも健康保持増進の為にできればというような計画をしておりますので、よろしくお願ひしたいなと思います。

それからもう一点につきましては、これも予算の方が伴いますので、議会の方等了解を取らないといけないのですが、医薬分業の関係です。これは組合病院とか本荘市の方に行けば、処方箋をもらって、薬局から薬をもらうというふうなことをされていると思います。鳥海診療所の方も医薬分業を取り入れていきたいということを計画しております。予算の関係もありますので、組合病院とかあちらの方に行って処方箋をもらって、色々めんどくさいというような考えも多々あるとは思いますが。これも医療法が始まって、明治のころなんですけども、医薬分業が昭和26年に一部改正になっております。当時は、患者の申出があれば処方箋を出さなくても良いという注釈がありましたので、なかなかお医者さんの方もやらなかった訳なんですけど、昭和49年に医療の改正がありまして、今まで処方箋を出せば100円が500円になってくる。これは医療機関もそのほうが良いのかなということで、すごく普及しているわけです。秋田県の場合、ちょっと古いデータですが、薬剤師会のホームページを見ますと、2003年には70%も普及しております。死亡率の高い秋田県が、そのお医者さんと薬剤師さんと二つのチェックができて、副作用とかそういったものに関心があるのかなということから秋田県は全国一で普及されているような感じもされております。今までは、薬局がなかった為にできなかった訳なんですけども、今現在薬局もありますし、そういうような患者さんの痛みにも副作用、処方方の危険性、間違いとか、これはあってはならないんですけど、今の時代色々ありますので、医者と薬剤師の二重チェックでより良い、医療事故がないようにという観点から推進して行きたいという計画をしております。ただ、処方箋を行っている関係で皆さんもご承知のこととは思いますが。多少高くなります。処方箋料とか薬局に行くと加算料。最低で、私の試算で月2回受診された場合1,000円。これは10割。3割負担ですと300円。正確にいくと330円ですか。1割負担ですと100円。そういうふうに自己負担が高くなりますけども、住民サービスといいますか、不正のチェックというのを謳われてきていますので、どうかご理解をお許しいただければ有難いと思います。以上2点です。

佐藤教育学習課長

私の方からも2点お伝えしておきます。鳥海地域の3小学校の統合、学校建設につきまして、この件につきましては基本設計を今年度まで作成するという事で、予算の方も9月の定例議会の方で承認を頂きまして、今月11月中に基本設計の業務委託を発注する運びになっております。これにつきましては3月、本年度内に基本設計のほうを、学校建設についても姿が見えてくると思います。それに基づきまして22年度は実施設計を含みまして、23・24年度

	で学校を建設し、２５年の４月に開放を進めて参るということですので、一つよろしく願います。このことにつきましては今後、その状況につきまして改めて報告を行いたいと思っております。 第２点目は現在建設中の笹子公民館でございます。工程表どおり順調に進んでおります。ただ、竣工ににつきましては、今後の議会等もありまして、竣工式の日程等は検討中ですが関係者等にご案内を申し上げますので、一つよろしく願いたいと思います。
佐藤建設課主席参事	先ほどお話もありましたように今日の天候を見る限りでは除雪の賦課工事は出てこないのかなと思っておりますけども、一晩で急変するのがこの地域の特徴であります。当地域におきましては今月３０日に冬期工事対策管理を開催しまして除雪作業に入っていきますので例年どおり、特段のご理解とご協力をお願いするものであります。なお、今現在通行止めになっております市道鳥海線、ホテルまさかからフォレストアまたは矢島スキー場に通じる道路でありますけども、この間につきましては、引き続き工事の完成するまで通行止めとなりますので、大変ご迷惑おかけしますがご協力お願いいたします。
会 長	課長さん方のお願い・報告につきましては以上でございます。定住自立圏形成方針について時間がかかると思っておりましたので時間が残っております。この時間を更に地域づくり推進事業のほうに話を進めて参りたいと思います。これから願うことは１２月にこれをまとめるとなれば、１２月のいつ頃会議を開くか、それまでにこの委員が何をしなければいけないか。更に事務局等に願うことはどういうまとめ方をしたらいいのかアドバイスを含めて、例えば１項目で３００万というのは大変なことでありますので、複数にわたって、いわゆる小分けした事業は良いのかどうか。今まで皆さんから話し合われた地域の宝物をなんとかして考えを出していろんな形でやっていく。それから環境整備の問題等々出ておりますが、これはそういう分野ごとで良いのかなと、そんなことも含めて話し合っていければなと思います。市の単独事業でやればそれなりにある意味では制約があまりないということになりますけどもその辺のところを事務局の方からお話いただいて、皆さんからはこの次の宿題について話し合いをしていきたいと思っております。
清水振興課長	一つの事業ではなくても結構で、いろんな事業でも併せて３００万円と理解してもらって構いません。また、皆様からいろいろな意見がありましたけども、これを具体的に何とかするのは非常に大変な作業だと思っておりました。より具体的に漠然とした話でなくて、ここまでお話しした話で皆さんの考えていることがあれば逆に具体的に団体にどれくらいのものをするのかというようなことがあれば、これも非常に今月いっぱい、来月までは当然こちらの事務局としては大変かなと思っていたところでした。
鈴木支所長	今の内容についてですけど、当然期間がないということで１２月の次の会で採決していただいてあげるとした場合に、具体的な使途等決まらないと思います。それにつきましては、来年度の補正で事業によっては繰り返しながらこういうものだ補正でも認めますということですので、具体的な使途の内容につきましては来年に入ってから検討する場面もあると思いますのでよろしく願います。
会 長	皆さんに地域づくり推進事業の提案書という用紙いただきましたけども市の方に出す書類もこのような形でしょうか。
清水振興課長	違います。具体的なことを地域協議会の団体で皆さんから出してもらような内容で、それを具体的にまとめたものを出す段階で様式までは決まっております。

	ません。
会 長	その様式に従ってまとめていくのは事務局でやっていただけるのか。
清水振興課長	決定権が地域協議会にあるということですので、決定したものを報告するような形です。
F 委員	今日は時間の制約もあることですし、１２月にまとめてと言ったって、正直私も今回初めて来たので、皆さんにも聞いたら、これをまとめるというまでの感覚を持ってないし、今何かないかと言われたってそう簡単なことでもないし、例えば地域協議会をまとめるための会議とかというのを何回か開いて煮詰めていくとかという、そうでないと今日ですぐまとめれと言われてもできない話です。
会 長	今日まとめないで１２月にまとめることになりますから。
F 委員	その次はまた、アレも喋られない、これも喋られない、課長の発言だけでまた時間がなくなってどうするとなると、事務局で決めたことしかなくなると思うので、例えば、その前に地域協議会とは別でもこのための煮詰める会でもするかとか。ここまで来て事務局でまとめるのかなと言う感じしかないんですよ。これを叩き台にして皆さんでもう一回１２月前に時間はともかく日にちはともかく１回集まってこのことをポイントを押さえて何かやろうかとか。
会 長	ポイントを押さえていくというのは１２月の会で時間をじっくりかけて方向を決定して細かいことは事務局にお願いする形で、或いはもう少し１２月の会議１回ではできないからその前に何回か集まってやるといっても難しいけども奨励会を設けてというやり方もあるんですけども。
F 委員	副会長はどうですか。 これは大変難しい話なんですよ。地域協議会で提案するというのも、そもそも趣旨がビックリした話であって、まず例えば事業主体を一つ取り上げる。はたしてこの人がやってくれるとか全然関係なくして、提案しただけの話であって、それをどこまでつめていくというのは地域協議会の委員が一つ一つ歩いて、最終的にバチッとまとめて行政に提出してくださいという話なんですか。
会 長	あくまでも皆さんの意見を集約するのはやらなければいけないことですから、これもやる。あれもとやると、一つのことに搾らなくても５つでも６つでも良いのだと言うこともありますので、そういう形で行かないとまとめて１本で行くというのは不可能だと思います。あと、途中で予算関係、いわゆる補正も含めて対応してもらおうということも今、支所長さんから言われましたので、そってじっくり１２月に時間をかけてまとめようじゃないかと。 例えば、この地域協議会がやると言うことになれば絶対的にやれると言うことなんですか。
会 長	それをやると言った以上はやらなければいけない。例えば地域協議会でやると言ったことを自由に提案するんだよ。後は市役所ぐるみで地域協議会のメンバーでやるんでないですか。
F 委員	そこまで熱意を持ってやらなければ、個別に調査していかなければ、ただ提

	案したのでは、今１２月でなくまた１回集まっただけではたして、まとめ上げることができるのかという心配はあります。
	難しいと思う１２月でまとめるのは。
会 長	難しいけども１回でまとめなければいけない。
F 委員	書類上、事務上まとめなければいけないって言ったって現実的には難しいと思う。
C 委員	今回は来る予定の人も来ていないでしょ。
会 長	今日は出席した方が過半数を超えていてよかったなと思っていますけども、いずれ出席した方に任せていくしかないと思いますな。いずれこのことについて２回も３回も集まっただけで誰がまとめてやるかってのも大変なもんだから、１本に搾れれば大変だけど、３００万円の範囲でまとめると言うことであれば何とかできると思う。
F 委員	事業提案をもとにというのが非常に漠然とした捉え方なんですな。
会 長	鳥海ではこれをやると地域協議会では出してくれというのであって、それやったから全部２０人のメンバーで手分けしてやるのかと言えばそういうのではない。
F 委員	発想も提案も良いのよ。提案すればやろうと、実施する段階でもう少しにつめなくても１２月で決まれば実施できるか等不安があるから私が言うので、例えば事業主体が観光協会・芸能保存会・観光案内とかあるんだけど、そこら辺自分たちもやるんだって決まれば良いのだけど、やっぱり今日提案されて１２月にまとめたんだけど出す書類は書けば良いのだけど、実際金はともかく良いものができてやりましょうと言うときに書類だけというのは失礼だけでも、そういうのは大丈夫なのかというのが感じたものですから、ちょっと言っただけで、議会で纏まれば一番良いことなんだけど。
会 長	ここで、猿田理事からアドバイスをお願いします。
猿田理事	特にアドバイスというものはないんですけども、基本的には地域のことは地域で考えてということには間違いはないんですけど、ただ、どこの地域も条件は一緒ですし、新しいものにトライしようというときは皆頭が悩ましいんです。ただ、そこで立ち止まってみれば、この事業の効果というのは全く出てこないし、これを細分化していついつこういたことをやって予算がいくらだということをしようにするから非常に頭が混乱するだけの話でありまして、地域協議会としては今、こういう意見があります。こういう団体ではこういう悩みがあります。というところをそれぞれ吸い上げていただいて事業提案をしていただくこの範囲で十分だと思うんですよ。そして、梓は先ほど振興課長が言いましたように今年は予算要求に細分化した要求なんてのは間に合いませんので、おそらく６月補正の段階で今回はつかみで補助金の項目にどんとのせることになろうと思います。それを６月ころまで地域協議会の皆様が各関連団体の人方というんな詰めをする中で、予算の再配分のできるような形に持っていけば良いと言うことです。一つには、既存の事業のグレードアップも良いでしょう。けども何とかお願いしたいのは気持ちとしてお願いしたいのは、やっぱり知恵を絞ってもらってないようなものを、光るものを出していただければ有難いなど。ですから、今日ペーパーでいただいた２人のこういった事業というのはとて

	も有効的だと思いますんで、一人の委員が2つでも3つでも良いです。紙2枚3枚でも良いですから、あんまりこだわらないで、市のしがらみは一切儲けませんのでペーパーを出してもらってこの場に、次の会議に集まってもらって、良いじゃないというものをいつでも拾い上げてもらう作業をこの次の協議会でやってもらいたいということのお願いです。どこの地域も全く一緒なんですよ条件は。ですからやろうとする意欲を全面に出してトライしていただきたいと言うことです。今見えている団体にグレードを上げるための嵩上げ補助をやりますよというばらまきのことは一番簡単でやりやすい方法なんです。けども、それがはたして地域の皆さん方も生き返ることができるかどうか、パワーに結びつくことができるかどうかということは非常に疑問なんで、あえて地域協議会の皆様に一旦受け皿として考えていきたいという内容をお願いしているわけですから、その辺のところを何とかご理解していただきたいと思います。
会 長	私も言おうとしていることを猿田理事さんから言われましたが、この提案書を改めてそれぞれ出す。今日話し合われたことも提出しながら、これが全く新しい起爆剤になるぞというアイディア等もありましたら、これは一人で2枚3枚でも良いですから、だして12月の会議に持ってきてもらって、やっぱりその時はみんなの思いが多い方にまとめていくしかないと思います。そういう方法で中間で何回も勉強会をやっていくとなかなか大変だと思いますので、これで良いのではと言うのが私の気持ちです。いかがでしょうか。 次回は12月いつ頃が良いのか。
C委員	提案書の締切が11月9日だけでも今月いっぱいでもしてもらえれば良いのかと思います。
会 長	会議をやる日にちをまず決めて、大体ですけど、正式な日にちを20日なら20日前後にしてそういうことにしても良いのではないですか。
清水振興課長	議会の予定日がはっきりしないと分からないですけども、議会の最終日が大体18日ころと聞いております。それが変更なければ行政協力員会議を17日にやる予定です。ですので20日過ぎであれば地域協議会は大丈夫だと思います。こだわらなくても1月でも良いです。もう2回は最低やらなければいけませんので、3月は予算のことをやります。
会 長	この提案書は今月いっぱいとします。次の会議はいつ頃がよろしいでしょうか。
清水振興課長	1月の中旬過ぎにしたいと思います。
会 長	12月は議会もありますし、行政協力員会議もありますので、1月でも良いとなれば1月に伸ばして、しかしこの提案は今月いっぱいまでとして、今日の大体のあらましを更にこんなことがありますよというアイディアを出していただいて、20人の委員で選っていすと思いますので、問題は今度今年末か新年早々かということで私どもも顔合わせということも考えて、もし1月にやるとすれば、懇親の機会も持ったいいのかなということも考えてます。
F委員	前から思っていたことなんですけども、委員同士の親睦しなければいけないんでないかと、1回飲まなければいけないんでないかと思います。親睦がないとここで発言するのも非常に難しいし大変ですので、そういうことをしながらやっていければと思います。
会 長	今月には提案書を提出して、1月には事務局にお任せした形で日程を取って

いただいて、その時は時間をじっくりかけて、完成しとめて、懇親会をやる形になります。

第3回地域協議会時に「地域づくり推進事業」の本日の提案をまとめた報告を予定していますが、協議会終了後、委員はじめ職員の皆様との親睦をはかるため懇親会を開催したらいかがなものかと私なりに考えております。

市長の意向としては、時間の許す限り参加するとのこと。

(懇親会開催か否かを確認後していただき、議長職を解任)

菊地振興課参事

鈴木鳥海総合支所より閉会の挨拶を申し上げます。

鈴木支所長

今日は長時間にわたりどうもご苦労さまでした。私の方からは報告とお礼を申し上げたいと思います。

11月8日ですが、東京都のアルカディア市ヶ谷においてふるさと鳥海の会に長谷部市長と私が出席しました。県の関係また、由利郡内の在京の方と併せまして、菊地会長さん始め会員60名くらい、県関係と私達を含めて10名くらい出席でございました。

今回から事務局も変わりました、またこちらからのバスでのツアー等もなかったので少し寂しかったと言われておりますが、今日、地域づくり推進事業の提案を頂きましたけども、こういうふるさと会についてもということで、事務局の方から提案がありましたけども、次回1月の中旬午後ということで懇親の場をもうけながら、市長との日程を含めて懇親したいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

改めて、地域づくり推進事業の提案につきましては1月末までということでよろしくお願いします。今日は大変ご苦労様でした。

菊地振興課参事

以上で第2回鳥海地域協議会を終了します